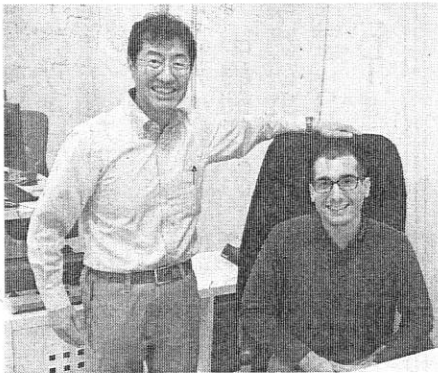


# ポルトガルに支店

## 三芳合金 欧の航空機部品市場開拓

【川越】三芳合金工業（埼玉県三芳町、萩野源次郎社長、049・258・3381）は、ポルトガルに支店を開設する。欧州での航空機用部品市場の開拓や次世代エネルギー研究への対応を強化するのが狙い。ポルト市内のシェアオフィスで7月に営業を開始する。まずは駐在員1人を置き、3年後に3人程度まで増やす予定。当面、数億円の売り上げを目指す。

三芳合金工業にとつて、ランディングギアで初の海外拠点。現と呼ばれる機体の足回



り部品の出荷量が急増しており、2018年は前年比2.2倍、19年も同4割近い伸びを見込む。特に、これまでのフラ

ンズ向けに加え、17年に納入を始めたドイツ萩野社長（左）とポルトガル支店オフィス（準備室）の駐在員

向けが全体をけん引しており、地理的に近いポルトガルに営業拠点を置くことにした。

さらに、フランス南部で国際間の共同研究が進む国際熱核融合実験炉（ITER）へ銅合金の素材供給も始まっている。「欧州との付き合いを深めることで、既存の冷却管向け以外にも、当社の素材が採用される可能性がある」（萩野社長）と期待。ポルトガル支店をその前線基地に位置付ける。このほか、欧州での情報通信、半導体関連などの市場も開拓していく考え。